

Edo Tokyo 春
Spring 2026

私たちは、Edo Tokyo キャンペーンと連携して、
江戸文化の魅力を発信しています

企画展
第1回

令和8年度

ワッショイ!

天下祭

目でみて楽しむ江戸城と山王祭
Edo Castle and the Sanno Festival in illustrations

令和8年 6/9 (火) ~ 20 (土)

※土日開館・6/15 (月) 休館

入場無料・予約不要

会場 国立公文書館東京本館 1階展示ホール

開催時間 午前9時15分~午後5時

協力 (一社) 千代田区観光協会

展示会の最新情報はここから

ホームページ X(Twitter) Instagram Facebook YouTube



記録を守る、未来に活かす。



東京メトロ東西線竹橋駅下車[1b出口] 徒歩5分



独立行政法人

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

企画展 第1回 令和3年度

ワッショイ!

天下祭

目でみて楽しむ江戸城と山王祭
Edo Castle and the Sanno Festival in illustrations.

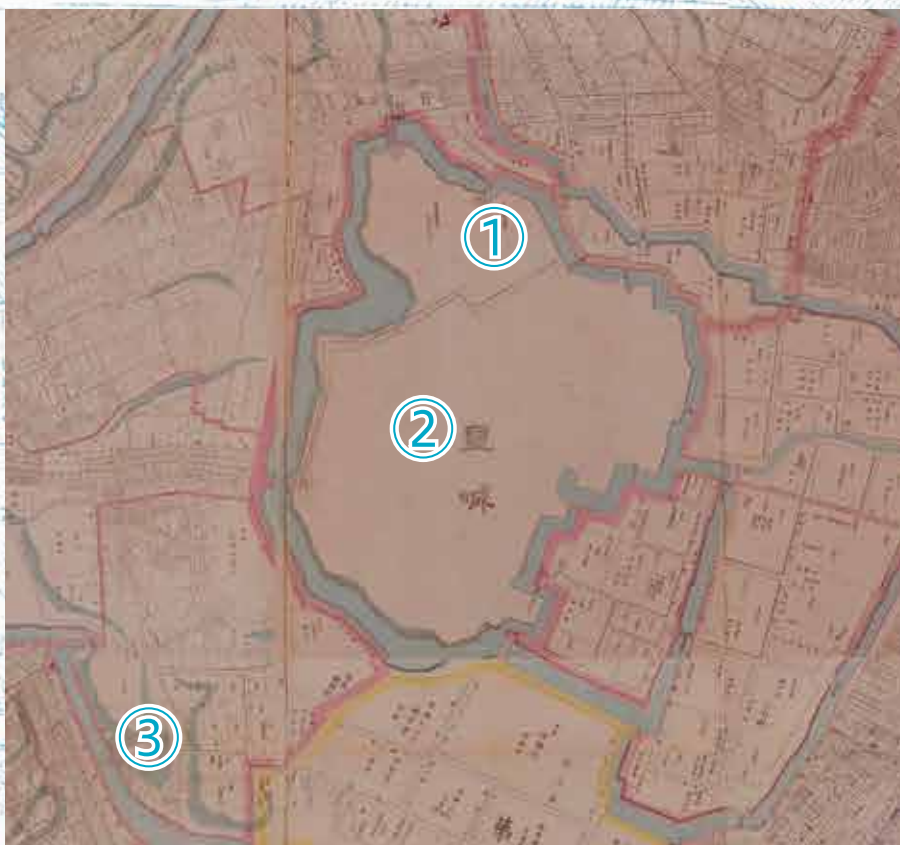
六月には、日本各地でさまざまな祭礼行事が催されます。国立公文書館のある千代田区では、江戸三大祭の一つ、日枝神社の山王祭が執り行われます。山王祭は、江戸時代には「東都一の大祭」と称されるほど、華やかなものとして知られました。

当館には、江戸幕府から引き継がれてきた歴史資料が、「特定歴史公文書等」として保存されています。その中には、江戸時代の山王祭について記されたものがあり、当時のにぎわいを今日に伝えています。

本展では、当館が所蔵する歴史資料の中から、当時の江戸の様子を描いた彩色絵図や版本をご紹介します。また、江戸幕府が編さんした将軍の正史である『御実紀』や、国の重要文化財に指定されている明治政府の公文書『公文録』など、日頃なかなか目にするのできない貴重な資料も合わせて展示します。

これらの歴史資料を通じて、江戸の山王祭のにぎわいを感じていただければ幸いです。

重要文化財!



「明治東京全図」

明治9年(1876)【請求番号:177-0506】

①国立公文書館

国の歴史資料として重要な公文書のほか、江戸幕府から引き継がれてきた貴重な蔵書などを保存・公開しています。

②江戸城紅葉山

江戸時代初期には山王社(後の日枝神社)が置かれました。また、徳川将軍のアーカイブズである「紅葉山文庫」が設けられました。

③日枝神社

隔年で執り行われる「山王祭」の行列は、徳川将軍も観覧したことで知られます。今年は6月7日(日)から6月17日(水)で開催。

展示解説会

会期中、企画担当者によるギャラリートークを開催します。詳細は当館HPをご確認ください。

循環バス

運行日:6月12日(金)~6月14日(日)

上記期間中、当館とすみだ北斎美術館・江戸東京博物館・丸ビルを結ぶ循環シャトルバスが運行します。詳細は当館HPをご確認ください。



「公文録 明治十五年一月 内務省 第三」

明治15年(1882)【請求番号:公03233100】



「江戸城本丸西丸図」

明治17年(1884)【請求番号:177-0341】



「江戸歳事記」

天保9年(1838)【請求番号:184-0012】

記録を守る、未来に活かす。